

# 結果の概要

## I 全国人口

### 1 人口の動向

#### 総人口は28万4千人の減少、2年連続で大きく減少

平成24年10月1日現在の我が国の総人口は1億2751万5千人で、23年10月から24年9月までの1年間に28万4千人（0.22%）減少となった。人口増減は、これまで増加幅が縮小傾向で推移し、平成17年に戦後初めて前年を下回った後、増減を繰り返し、23年に25万9千人の減少となり、24年は28万4千人と2年連続で大きく減少した。

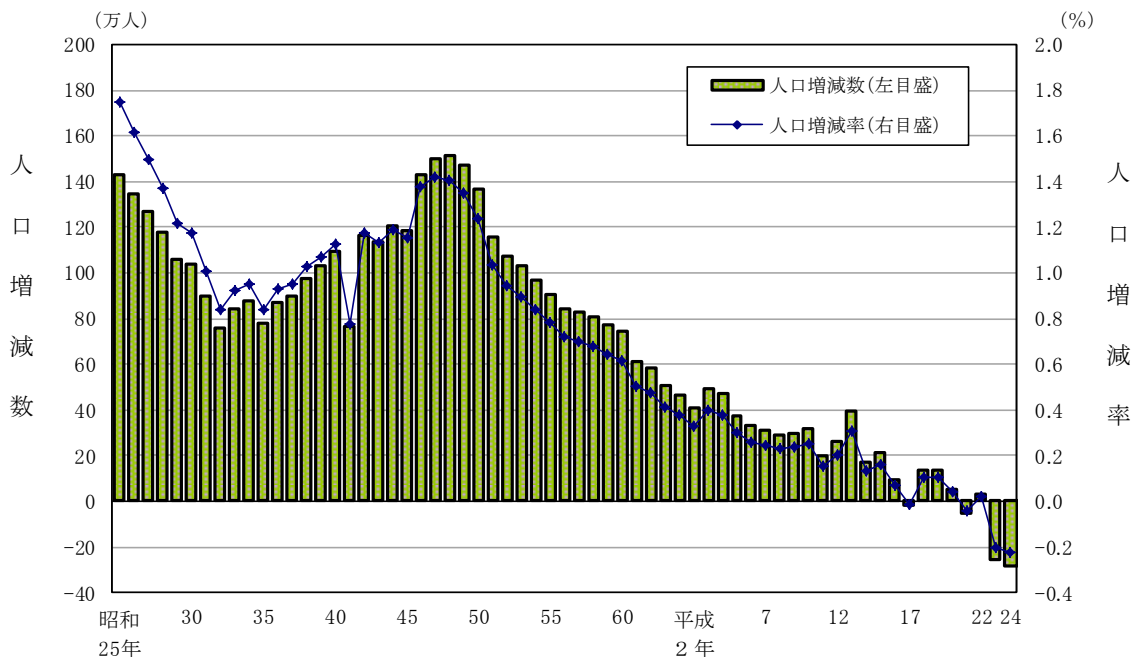
日本人人口は1億2595万7千人で、前年に比べ22万3千人（0.18%）減少となり、2年連続で大きく減少した。（表1、図1、表2）

表1 総人口及び日本人人口の推移(平成19年～24年)

年次	総人口			日本人人口		
	10月1日現在人口(千人)	増減数 <sup>1)</sup> (千人)	増減率 <sup>2)</sup> (%)	10月1日現在人口(千人)	増減数 <sup>1)</sup> (千人)	増減率 <sup>2)</sup> (%)
平成19年	128,033	132	0.10	126,347	62	0.05
20	128,084	51	0.04	126,340	-8	-0.01
21	128,032	-52	-0.04	126,343	4	0.00
22	128,057 <sup>3)</sup>	26	0.02	126,382 <sup>3)</sup>	38	0.03
23	127,799	-259	-0.20	126,180	-202	-0.16
24	127,515	-284	-0.22	125,957	-223	-0.18

- 注1) 平成22年までの増減数には補間補正数（平成17年国勢調査人口を基に算出した人口推計と、22年国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの）を含む。  
 2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期間初めの人口＝期首人口）で除したもの。  
 3) 国勢調査人口。日本人人口は、総人口に対する日本人人口の割合であん分した国籍不詳を含む。

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(昭和25年～平成24年)



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口（期首人口）で除したもの。

表2 総人口の推移（平成2年～24年）

（単位 千人）

年次	10月1日 現在人口	人口増減（前年10月～当年9月）									
		純増減 <sup>1)</sup>		自然動態 <sup>2)</sup>			社会動態 <sup>3)</sup>				
		増減数	増減率(%) <sup>4)</sup>	出生児数	死亡者数	自然増減	入国者数	出国者数	社会増減	うち日本人	うち外国人
平成2年	123,611 <sup>5)</sup>	406	0.33	1,241	824	417	11,303	11,301	2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224	829	394	11,168	11,130	38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228	854	374	12,720	12,685	34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205	882	322	12,398	12,408	-10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	877	351	13,982	14,064	-82	-76	-6
7	125,570 <sup>5)</sup>	305	0.24	1,222	925	297	15,653	15,703	-50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203	896	307	17,375	17,388	-13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	921	288	17,974	17,960	14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215	933	282	17,028	16,990	38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198	985	212	17,237	17,249	-12	-43	30
12	126,926 <sup>5)</sup>	259	0.20	1,194	968	226	18,462	18,424	38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185	966	219	19,266	19,120	146	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176	981	195	16,321	16,372	-51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,023	115	15,038	14,970	68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,024	103	17,673	17,709	-35	-77	42
17	127,768 <sup>5)</sup>	-19	-0.01	1,087	1,078	9	18,951	19,004	-53	-103	50
18	127,901	133	0.10	1,091	1,090	1	2,836	2,835	1	-60	61
19	128,033	132	0.10	1,102	1,104	-2	2,882	2,879	4	-75	79
20	128,084	51	0.04	1,108	1,142	-35	2,864	2,908	-45	-110	65
21	128,032	-52	-0.04	1,087	1,146	-59	3,114	3,237	-124	-77	-47
22	128,057 <sup>5)</sup>	26	0.02	1,083	1,188	-105	2,840	2,840	0	4	-4
23	127,799	-259	-0.20	1,073	1,253	-180	2,686	2,765	-79	-28	-51
24	127,515	-284	-0.22	1,047	1,251	-205	2,757	2,836	-79	-23	-56

注1) 平成22年までの純増減には補間補正数を含む。このため、純増減は自然増減と社会増減の計とは一致しない。

2) 「人口動態統計」（厚生労働省）による。

3) 「出入国管理統計」（法務省）による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

4) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期首人口）で除したもの。

5) 国勢調査人口。

**男性は5年連続、女性は2年連続の減少**

総人口を男女別にみると、男性は6202万9千人（総人口に占める割合48.6%）で、前年に比べ15万4千人（0.25%）減少と5年連続で減少、女性は6548万6千人（同51.4%）で12万9千人（0.20%）減少と2年連続の減少となった。

人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.7となっており、女性が男性より345万6千人多くなっている。

（表3）

表3 男女別総人口の推移（平成12年～24年）

（単位 千人）

年次	男						女						人口性比
	10月1日 現在人口	純増減 <sup>1)</sup>		自然 増減	社会 増減	補間 <sup>3)</sup> 補正数	10月1日 現在人口	純増減 <sup>1)</sup>		自然 増減	社会 増減	補間 <sup>3)</sup> 補正数	
		増減数	増減率(%) <sup>2)</sup>					増減数	増減率(%) <sup>2)</sup>				
平成12年	62,111 <sup>4)</sup>	94	0.15	85	-2	11	64,815 <sup>4)</sup>	165	0.26	141	40	-16	95.8
13	62,265	155	0.25	81	52	21	65,051	236	0.36	138	94	4	95.7
14	62,295	30	0.05	69	-60	21	65,190	140	0.21	126	10	4	95.6
15	62,368	73	0.12	28	23	21	65,326	136	0.21	87	45	4	95.5
16	62,380	12	0.02	22	-31	21	65,407	80	0.12	81	-5	4	95.4
17	62,349 <sup>4)</sup>	-31	-0.05	-25	-28	21	65,419 <sup>4)</sup>	12	0.02	34	-25	4	95.3
18	62,387	38	0.06	-26	7	57	65,514	95	0.14	27	-6	73	95.2
19	62,424	37	0.06	-25	6	57	65,608	95	0.14	23	-2	73	95.1
20	62,422	-2	-0.00	-41	-18	57	65,662	53	0.08	6	-27	73	95.1
21	62,358	-64	-0.10	-55	-67	57	65,674	12	0.02	-5	-57	73	95.0
22	62,328 <sup>4)</sup>	-30	-0.05	-74	-13	57	65,730 <sup>4)</sup>	56	0.09	-31	13	73	94.8
23	62,184	-144	-0.23	-107	-37	-	65,615	-115	-0.17	-73	-42	-	94.8
24	62,029	-154	-0.25	-118	-37	-	65,486	-129	-0.20	-87	-42	-	94.7

注1) 前年10月から当年9月までの増減数。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期首人口）で除したもの。

3) 国勢調査人口を基に算出した人口推計と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの。

4) 国勢調査人口。

## 男性は8年連続、女性は4年連続の自然減少

自然増減（出生児数－死亡者数）をみると、出生児数は、第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており、平成24年は104万7千人で前年に比べ2万7千人の減少となった。一方、死亡者数は、125万1千人で前年に比べ2千人の減少となった。

この結果、出生児数が死亡者数を20万5千人下回って、6年連続の自然減少となり、減少幅は拡大している。男女別にみると、男性は8年連続、女性は4年連続の自然減少となった。（表2、表3、図2、図3）

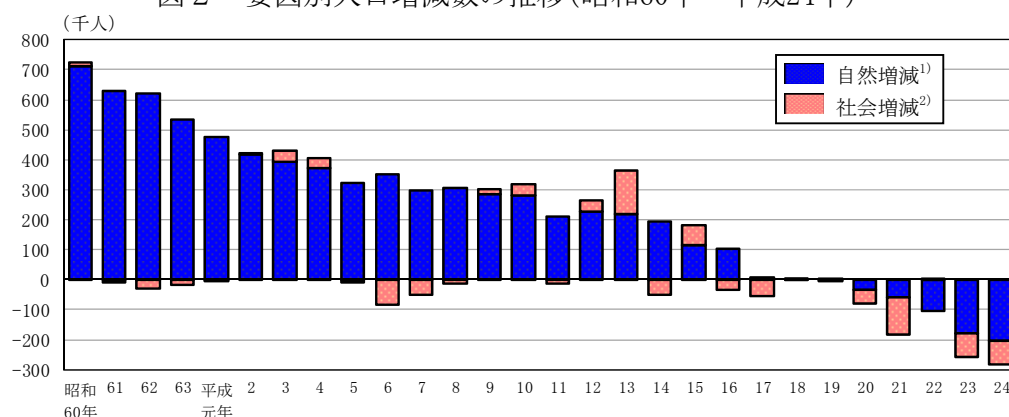
## 外国人は4年連続の社会減少、過去最大の減少幅を更新

社会増減（入国者数－出国者数）をみると、入国者数は275万7千人、出国者数は283万6千人で、共に前年に比べ7万1千人の増加となった。

この結果、入国者数が出国者数を7万9千人下回った。男女別にみると、男性は5年連続の社会減少、女性は2年連続の社会減少となった。

これを日本人・外国人の別にみると、日本人は2万3千人の社会減少、外国人は5万6千人の社会減少となった。外国人は4年連続で社会減少となり、減少幅は過去最大だった昨年を更新した。（表2、表3、図2）

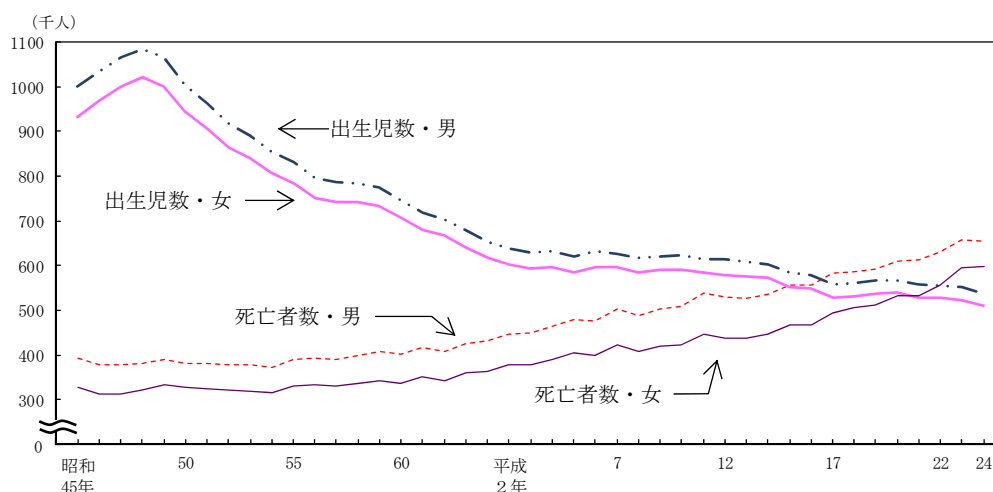
図2 要因別人口増減数の推移(昭和60年～平成24年)



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

図3 男女別出生児数及び死亡者数の推移(昭和45年～平成24年)



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 昭和45年、46年は沖縄県を含まない。